

# 令和3年度第2回スポーツ推進審議会 提出された意見及び市の考え方

## 1.令和3年度事務の管理及び執行の状況の点検及び評価について

対象事業	意見	市の考え方
	<p>幼児サッカー教室は昨年度より参加者が増加しています。コロナ禍だからこそ幼稚園・保育所で制限されている活動を子供の健康を考えスポーツ教室に期待された表れではないかと考えます。コロナ対応を十分配慮した、スポーツ教室の開催が期待されるのではないかと考えます。</p> <p>幼児サッカー教室の実施時間帯（特に年長クラス）は、保護者が家事等で多忙な時間帯ではないでしょうか。保護者の送迎や帯同を考慮した時間帯での開催を検討する必要はないでしょうか。</p>	<p>引き続き、小牧市スポーツ協会や加盟競技団体等に対して、新型コロナウイルス感染対策の徹底を要請するとともに、参加者からのニーズ等を共有し、参加しやすいスポーツ教室の開催に努めます。</p>
	<p>ランニング教室は申込者が少ないのでPR方法を検討してください。</p>	<p>小牧市公式LINE等を活用したPR方法を検討します。</p>
<p>施策25 誰もが楽しめるスポーツ活動の推進 「スポーツ教室の開催」</p>	<p>ママ体操は一般的な言葉の解釈から限定された年齢層の体操というイメージをもたれ参加者が少ないのではないのでしょうか。今後の方向性で、女性に広げることにはぜひ実行していただき、幅広い年齢層の女性の参加を実現していただきたいと思ひます。</p> <p>ママ体操の対象は65歳未満となっていますが、子育てをしているママ層が参加しやすいように子どもを預かる受け皿は用意されていたのでしょうか。</p> <p>ママ体操を「ママから女性に広げ」とある。名称は変更するのでしょうか。女性全般に受け入れられると良いと思ひます。</p> <p>ママ体操は参加者が3名と非常に少ないので、開催曜日・時間等を検討してください。</p> <p>ママ体操を女性対象に広げて継続されるのであれば、平日午前中の時間設定は、働く女性が増える中難しいのでは。日時を考える必要があると思ひます。</p> <p>ママ体操の新規申込者が減少傾向にあるのは、新型コロナウイルス感染症拡大防止に向けた施設の利用停止や、講座のPR不足にあると思ひます。</p>	<p>令和4年度から参加対象の年齢による制限を無くし、名称を「レディース体操」に変更し実施します。</p> <p>また、参加者からのニーズ等を把握し、参加しやすいスポーツ教室の開催に努めるとともに、より多くの方に参加していただくため、チラシの配布等、PRの方法を工夫します。</p>

<p>施策25 誰もが楽しめるスポーツ活動の推進 「スポーツ教室の開催」</p>	<p>誰もが参加できるスポーツ活動のために、身近な参加型の教室や広報活動など視野広く活動していると思います。今後の課題としては、ネーミング等の検討、内容、連携等をしてしながら良い方向へ進むこと、多くの方が協力し合うことを望みます。</p>	<p>引き続き、小牧市スポーツ協会や加盟競技団体等と連携し、多くの方がスポーツに取り組むことができる機会の充実を図ってまいります。</p>
<p>施策26 こどものスポーツ活動の充実 「こども対象のスポーツ教室の開催」</p>	<p>ViVa!スポーツクラスについては、新しい取組として今後の一層の充実を望みます。トータルスポーツ教室に代わるスポーツの導入的活動として適切だと思います。</p>	<p>子どもたちのスポーツ参加へのきっかけとなるよう、引き続き、講座内容の充実に向けてまいります。</p>
	<p>有名選手を迎えての体操教室は素晴らしい取り組みです。子どもたちがトップアスリートを見て、触れて、感動を覚えることは、スポーツに対する意欲を高揚させ、真剣に取り組む努力する素地となるため継続実施を期待します。</p>	<p>講師のスケジュールの都合もありますが、令和4年度から可能な限り回数を増やすよう調整します。実施回数を増加させることにより多くの市民に感動を提供できるように努めます。</p>
	<p>寺本明日香選手と体操しようの定員は40名だが、表中の参加人数は39名となっている。受講決定後の辞退者が出たのか。当日急病の欠席か。</p>	<p>参加人数が39名となったのは、直前のキャンセルによるものです。</p>
	<p>ジュニア体操教室は大変人気があります。実施回数を増やしていただきたい。</p>	
	<p>withコロナ社会だからこそ運動機会を提供し、子どもの体力低下を防止する役割を担っていただきたい。スポーツ協会や加盟団体へコロナ対応を任せるだけでなく、市教育委員会が基本対応方針を示し点検しているのでしょうか。</p>	<p>新型コロナウイルスの感染状況等に応じて、施設の利用や学校開放事業等の対応方針を市で決定しています。今後も不透明な状況が続きますが、市として小牧市スポーツ協会や加盟競技団体等へ必要な情報提供を適切に行ってまいります。</p>
<p>達成状況4行目の「あそび親子運動教室」とその下の表中の「あそび運動教室」は同じものなのか。</p>	<p>あそび親子運動教室は、小学1～3年生とその親をペアで参加してもらう教室です。 一方、あそび運動教室は、小学4～6年生を対象にした教室です。</p>	

<p>施策27 競技スポーツの振興 「東京オリンピック・パラ リンピック競技大会関連事 業の実施」</p>	<p>アジア競技大会については、競技スポーツの振興に関して事前の啓発活動を充実することにより、広く市民が身近な大会として待望できる事業になることが大切だと思います。</p>	<p>令和3年度市民意識調査では、2026年に愛知県でアジア競技大会が開催されることを知っている市民の割合が11.9%であり、まだまだ周知が進んでいない状況です。愛知県等と連携し、開催に向けて広報活動に力を入れていく必要があると考えております。</p>
	<p>多様性社会の実現に向けて貢献した事業であったと思います。 障がいの有無にかかわらずスポーツを楽しむことのできる、ユニバーサルスポーツの実施を実現していただきたいと思います。</p>	<p>障がいの有無等にかかわらず広く市民がスポーツに参画できる環境を整備していく必要があると考えております。</p>
<p>施策28 市民のスポーツ活動を支える環 境整備 「スポーツ情報の提供」</p>	<p>YouTubeを活用した動画配信による運動紹介などは効果的であると考えます。</p>	<p>小牧市スポーツ協会と連携し、SNSやYouTube等を活用した情報提供を検討してまいります。</p>
<p>施策28 市民のスポーツ活動を支える環 境整備 「スポーツ施設の適切な管 理・運営」</p>	<p>市民のスポーツ施設の利用について、適切な利用料金設定が第一だと考えます。利用料の減免を含めた利用しやすい環境設定は、市民のスポーツ活動への意欲増進に直結していきます。</p>	<p>公共施設の使用料につきましては、受益者負担の原則に基づき徴収するとともに、近隣市町等の使用料と比較を行う等、定期的に見直しを行っております。 ご指摘のとおり、施設利用の利便性の向上は、市民のスポーツ活動にとって重要なことであると考えており、今後、新施設予約システムの構築にあわせて、施設予約や支払いの方法等を見直し、利便性の向上を図ってまいります。</p>
	<p>モニタリングの結果を踏まえ課題と今後の方向性が示されていると考えられますので、必ず実施する姿勢で次年度の運営に臨んでいただきたいと思っております。</p>	<p>指定管理業務において、施設が適切に管理・運営されていることを確認するために、モニタリングを行うことは非常に重要なことであるため、計画的に実施し次年度の運営の改善に努めます。</p>
	<p>オンライン予約やキャッシュレス決済は、高齢者の方にも利用しやすいようデジタル化だけではなく、アナログ窓口もお願いします。</p>	<p>従来窓口等での施設の空き状況照会、施設の予約、抽選の申込み等に加えて、オンラインからでも利用できるようにするものです。</p>

## 2.令和4年度教育委員会基本方針重点施策について

<p>施策25 スポーツ教室の開催</p>	<p>スポーツ教室の開催については、様々な視点から市民のニーズに応えることが大切です。そこで、各種企画の成否のカギとなってくるのが市民のニーズを把握した情報の正確さだと思います。</p> <p>成人対象のスポーツ教室の開催については、性別・年齢別など、ターゲットの絞り込み方によって開催の時間や会場が決まってきます。単年度だけではなく、長期的な企画に基づき、順次ターゲットを移行していく企画も良いと思います。</p>	<p>参加者へのアンケートや加盟団体指導者の意見等により、その時代のニーズに合わせたスポーツ教室等の実施を検討したいと考えております。</p>
	<p>スポーツ教室の実施も情報の発信を続けてほしいと思います。</p>	<p>広報誌等を活用し、各種スポーツ教室の情報発信に努めます。</p>
<p>施策26 子ども対象のスポーツ教室の開催</p>	<p>まなび創造館で開催されている各種スポーツ教室や保健センターで開催の子育て支援事業、さらには各児童館での子育て支援に関する事業企画など、関連する事業内容等についての幅広い情報の共有が必要だと考えます。</p>	<p>子ども対象のスポーツ教室の周知については、広報誌の活用のほか、チラシを子育て関連施設に配布する等、周知の方法を工夫し情報の共有に努めます。</p>
<p>施策26 地域部活動の検討</p>	<p>地域部活動としての展開は、学校現場との緊密な連携が重視されます。かつて、市内の中学校に位置付けられていたジュニアクラブ活動とほぼ同様の活動内容になると思います。過去の諸課題検討からスタートすることが適切だと考えています。</p>	<p>令和4年度に地域部活動検討委員会(仮称)を発足し、地域部活動の導入について検討を進めてまいります。</p> <p>指導者の確保についても今後検討をしていく必要があると認識しております。</p>
	<p>地域部活動の導入について、学校以外の方と触れ合う点では良いことだと思いますが、スポーツ振興会の弱体化が著しく、活動休止状態にある振興会もあり、地域から指導者を選ぶことが無理だと思います。</p> <p>子どもたちに休日の運動機会の確保をすることは必要ですが、運動をしたい子はクラブチームに入り、あまり好きでなく仕方なく部活に来る子もいます。教職員の負担軽減のためなら、休日の部活動を休止でも良いと思います。</p>	

施策28 スポーツ施設的环境整備	スポーツ施設的环境整備で新たな多目的グラウンドを整備するとありますが、場所・時期・大きさ・種目等具体的に教えていただきたい。	さかきテニスコート駐車場横の土地に、夜間照明を備えたフットサル（兼用テニス）コートを整備します。令和4年度に設計委託を行い、令和5年度に工事をを行います。
施策28 新施設予約システムの導入	新施設予約システムの導入はコロナ禍だからこそ推進しなくてはならないICT活用でもあります。早期実現を目指してください。	令和5年1月の稼働を目指し、新施設予約システムの構築を進めてまいります。
	新予約システム導入は良いと思います。時間の都合で人を頼むとか、長時間並ぶ必要が無くなり蜜を避けるのに良いのではないかと。	これまで利用申込や抽選等で事前の窓口手続きが必要でしたが、利用日当日のみの来館で利用が可能となります。

## 1.2共通

情報発信について	より広く我々市民に分かりやすく情報の発信を実行していただきますようお願いいたします。	スポーツ情報について、広報誌等を活用し様々な情報をお届けしてまいります。 学校体育施設の開放状況については、文書等で各開放運営委員長へ通知をさせていただいております。また、スポーツ施設に利用制限が生じた際は市ホームページにて開館状況をお知らせしております。
	コロナ禍において小中学校施設開放が制限されています。小牧市のスポーツ施設の利用制限等の情報が伝わってこない。速やかに正しい情報を発信していただきたい。	
全体	コロナの感染状況により、何度も施設が閉鎖された中対策を行い、色々実施されたことはよかったと思います。	感染対策を行いながら市民のスポーツ活動の機会を創出できるよう、今後も事業の推進に努めます。
	本年度も感染症対策をしながらの活動となりました。コロナ禍においても小牧市民の健康づくりのため安心して運動する機会を設ける事を願っております。身体を動かすことで免疫力の向上だけでなく心の健康にもつながる事は確実です。今後とも、小牧市民の皆様が楽しく運動できるよう微力ではありますが、私自身も様々な場所で協力していく次第です。	

### 3.その他

マラソン大会について	シティマラソンの5kmや10kmのどちらかに新たに時間制限のないタイプがあっても良いのでは？交通整理、警備等難しい面もあり、簡単ではないと思いますが最後まで走りたいと思っている方もいるのではないかと思います。	公道を使用するレースであるため、一定の制限時間を設けることは、警察の指導でもあり撤廃は難しいのが現状です。ただ、現行の制限時間は、10kmコースでは8kmを60分以内、5kmコースでは40分以内としているため、練習して臨んでいただければ余裕をもってクリアできると考えております。
ナイター設備について	屋外のナイター設備の使用度はいかがでしょうか。もし、設備が少ないのであれば充実させていただきたいと思います。夜間に活動したい市民も多くおり、活動する場が増えるのではと思います。	パークアリーナサッカー場、総合運動場、さかき運動場、南スポーツセンターに夜間照明を設置しており、夜間の使用度は施設により異なりますが、概ね5割から7割程度の稼働率となっております。また、桃陵中学校、小牧西中学校グラウンドにも夜間照明を設置しており、ナイター設備は充足しているものと考えております。